

第2回草津市総合交通戦略協議会議事録

○日時 平成24年11月27日（火） 13:30～16:00

○場所 草津市まちづくりセンター 301会議室

○出席者

委員：川瀬、濱田、南出、前野、塚口、平野、樋口、大西、吉澤、沢田、後藤、谷村、徳島、吉井、田中

事務局：浅見、岡村、北中、山本、松尾、藤崎

中央復建コンサルタント：山室、高橋

随行者：2名

○配布資料

- ・議事次第
- ・委員名簿
- ・座席表
- ・資料1 市民アンケート速報
- ・資料2 事業者アンケート
- ・資料3 草津市総合交通戦略策定に向けて
- ・市民アンケート
- ・事業者アンケート
- ・委員ヒアリングシート

○議事概要

事務局	<ul style="list-style-type: none">・ 皆様、本日はご多忙な中、お集まりいただき誠にありがとうございます。交通政策課の山本が進行させていただきます。よろしくお願いいたします。・ 9月3日に第1回の協議会を開催させていただき、本日は第2回目となります。本日の委員のご出席は、19名中17名であり、設置要綱第5条第2項に定める過半数以上の出席を得ておりますことから、本協議会は成立しておりますことをご報告申し上げます。また、当協議会は公開にて進めさせていただくことをご報告させていただきます。・ それでは、次第にそって会議を進めてまいります。・ まず開会にあたりまして、事務局を代表いたしまして草津市都市建設部長よりご挨拶申し上げます。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・ 都市建設部の浅見でございます。・ 本日は、お忙しい中、委員の皆様におかれましては草津市総合交通戦略協議会に出席を賜り、厚くお礼申し上げます。今回は第2回目ということで、第1回目の議題で挙げさせていただきました草津市の交通の現状と課題、総合交通戦略に位置づける施策例などを提案いたしましたが、今日は、もう一步踏み込んだ内容で施策イメージなどを提案させていただきますので、委員の皆様のご意見をいただきたいと思っております。・ 以上、甚だ簡単ですが、開会にあたりまして、わたくしの挨拶とさせていただきます。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・ ありがとうございました。・ 続きまして、会長よりご挨拶をいただきたく願います。

<p>会長</p>	<p><<会長あいさつ>></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。部長のお話にもございますように、交通に関する協議会がありますが、その中でも特に重要な役割を担える協議会だと考えております。都市の将来像を明確にしてまちづくりと一体になった交通システムを構築するために非常な大きな役割があるといえます。今回は市民アンケートの速報値を示し、ご意見を頂戴しながら戦略の策定に向かっていきたいと考えています。よりよいものにしていく上でご協力のほどお願いいたします。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございました。 ・ ここで資料の確認をさせていただきたいと思います。お手持ちの資料を確認してください。 ・ まず、次第、委員名簿、座席表、資料1から資料3でございます。揃っていますでしょうか。もし資料が抜けていましたら事務局までお申し出ください。 ・ それでは、会議を進めてまいります。議事進行につきましては、会長をお願いいたします。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ それではわたしのほうで議事を進めてまいります。本日の議事は、前回の議題にありました、市民アンケート調査の中間報告、事業者へのアンケート調査、総合交通戦略の策定に向けての3議題となっています。進め方ですが、1番目の市民アンケート調査の中間報告、2番目の事業者へのアンケート調査について、事務局より説明を求め、ここで一旦、委員の皆様から質問、意見をお聞きし、それから3番目の総合交通戦略の策定に向けて入りたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。 ・ では、議題の1番目と2番目を事務局より説明願います。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局でございます。 ・ それでは1番目の市民アンケート調査の中間報告、および2番目の

中央復建	<p>事業者へのアンケート調査について中央復建コンサルタンツさんより説明していただきます。</p> <p><<資料1に基づき説明>></p> <ul style="list-style-type: none">・ 中央復建コンサルタンツです。・ まず資料1について説明いたします。市民アンケート調査についてです。交通環境・公共交通サービスの満足度や重要度、ニーズを探ることを目的としています。調査対象としては18歳以上の草津市民を無作為抽出、11月5日付けで郵送にて配布・回収しています。配布数は6,000部、回収数が11月20日現在で2,100部です。締切りは11月20日で締切り以後の一定期間で到着した分も集計いたします。・ 大まかな調査内容として回答者の属性、歩行環境、自転車の利用環境、公共交通の利用環境、将来交通のありかた、併せて自由記述にA4用紙1枚に記入をお願いいたしました。・ 続いて調査結果の速報値を報告します。・ まず属性として、回答者の性別は男性より女性の割合が若干多く、5割6分が女性です。年齢別に見ますと、年齢が高くなるほど回答が多くなっています。特に女性で年齢の高い方の回答が多い結果となっています。・ 次に各地域の回収状況と自動車の利用状況についての設問に対する回答です。約7割の方が「今後も自動車を運転する」という結果になっていますが、一方で6%の方は「今後運転を控えたい」と回答されています。・ 次に歩行環境についてです。自宅周辺の歩行環境について最も同意された項目は、「夜間の道が暗い」「歩道がない、狭い道が多い」です。そういった環境により、1割4分の方が外出を控えているという状況にあります。
------	---

- ・ 続きまして、自転車の利用状況に関する質問です。自転車については約7割の人が利用されています。そのうち4割の方が「ほぼ毎日利用」されています。自転車の利用目的は買い物、通勤通学の順に多くなっています。また、自転車を利用しやすい環境づくりに必要なものとして、駅前駐輪場の整備や店舗での駐輪場の整備、安全な走行環境の整備、マナーの教育といったことが挙げられています。自転車の利用について、多くが駅周辺の地域へ出かけられ、商業施設や駅が目的地となっている結果です。停める場所としては、無料の駐輪場と答えられている方が多くなっています。
- ・ 次に公共交通の利用についての質問です。公共交通の利用に関しては、およそ2割が利用していないと答えられています。利用している方の多くは鉄道のみで、バスと鉄道の組み合わせた利用をされている方は4人に1人となっています。
- ・ 次に公共交通、特にバスの運行サービスについてのご意見を取りまとめしております。「大変不満・やや不満」の項目が多いのが、運行本数（朝夕）・（昼間）で4～5割の方が挙げておられます。反対に満足度が比較的高いのは運行ルートと運行時間の正確性です。一方でサービスの重要度は運行ルートと時間の正確性となり、満足度と重要度が重なっている傾向があります。
- ・ 次に将来交通のあり方ということで、市民のニーズを探る調査であります。移動を充実させて欲しい地域は草津駅、南草津駅といった駅周辺、公共交通手段としては路線バス、まめバス、自転車走行空間といったところのニーズが高い結果となっています。また、将来の交通環境のニーズとしては、自転車の走行環境の整備、鉄道・バス・タクシーの乗り継ぎのしやすさ、バリアフリー化が挙げられており、皆さんが使いやすい環境を望んでいらっしゃるのことがわかります。
- ・ 今後10年先の交通整備の方向性については、自転車に関するもの、道路に関するもの、バスに関するもの、駅周辺のバリアフリーについて多く挙げられました。市民アンケートの報告は以上です。詳細結果については次回協議会で紹介させていただきます。

<p>会長</p>	<p><<資料2に基づき説明>></p> <ul style="list-style-type: none"> 資料2は事業所を対象にしたアンケートです。調査目的としては、交通課題の解決のため、通勤行動に着目した現状把握です。 調査対象としては草津市内の事業所で、配布数については現在調整中です。12月に配布・回収を予定しています。調査内容は事業所の概要、通勤行動の現状についてです。以上でございます。 ただいま説明いたしました資料でなにかご質問ご意見などはございますでしょうか。市民と事業者へのアンケートについてで、前者は速報値、後者は案ということです。市民アンケートの構成比は全体の傾向を反映していると思います。
<p>A 委員</p>	<p><<質疑応答・意見交換>></p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートの数値についてですが、回収数に対してサンプル数が少ないのですが、これはデータが追いついていないのか欠損数が多いのかどちらですか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> 総数は2,100件ですが、データ入力が終わった1,024件について紹介させていただいています。各項目サンプル数が一致しないのは、回答していない項目もあるからです。
<p>A 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> アンケートを配布するときに回答されている方はどなたになるのですか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> どなたにというのは特定していませんが、調査に関心のある方に回答していただく形になっています。
<p>B 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 最終的なまとめ方ですが、エリアや学区ごとに回答クロス集計をして学区の特性が見えてくるようなまとめ方をされますか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域ごとにクロス集計を行っています。今回は速報ですが、必要に応じて深彫りして分析を進めていきたいと思っています。

B 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学区ごとの分析を希望します。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 抽出は学区ごとにされているのですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 抽出は学区ごとに按分して配布させていただきました。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多少のばらつきはあると思いますが、構成比は再現できると思います。こういう分析をしてほしいというものがあればおっしゃって下さい。今確認したのは、全体的な分析とあわせて学区ごとの分析も示していただくことです。 ・ 他に意見はありませんか、よろしいでしょうか。後ほど全体を通じてまたご意見を伺いますので、その時でも結構ですので意見をだしていただければと思います。 ・ それでは3番目の総合交通戦略の策定に向けてについて、事務局より説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。それでは資料3に基づき中央復建コンサルタンツさんから説明をしていただきますのでよろしくお願いいたします。 <p><<資料3の説明>></p>
中央復建	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料3をご覧ください。まず、草津市が目指す方向性について提示させていただきたいと思います。総合交通戦略を考える上で基本的な理念や方向性を議論していただくために、まずは草津市の総合計画や関連計画を確認した上で、交通戦略のあり方を議論いただきたいと思います。 ・ まず第五次草津市総合計画です。将来像として、「出会いが織りなすふるさと “元気” と “うるおい” のあるまち草津」ということをテーマとして、「人」が輝くまち、「安心」が得られるまち、「心地よさ」が感じられるまち、「活気」があふれるまちといったことを基本方向としています。 ・ 次に草津市都市計画マスタープランでの位置づけです。「人にやさし

く環境に配慮した持続可能な都市の構築」、「美しく安全でゆとりある都市空間の創造」、「市民との協働によるまちづくり」といった3点が理念としています。「ゆとりと活力のある生活実感」をテーマに掲げて、目標として「安全で安心できる都市の形成」、「立地特性を活かした賑わいと活力のある都市の形成」、「歴史と調和した美しく潤いのある都市環境の形成」、「協働によるまちづくり文化の醸成」といった点を掲げています。

- ・ 3点目の草津市地域公共交通総合連携計画では、全体目標として、「人が元気になり、まちが元気になり、地球も元気になる。」といったテーマで取り組み、「公共交通空白地を改善し、地域の生活サービスの向上を図る」こと、「商業・観光等の振興策と連携して、地域の活性化を図る」こと、「通勤・通学時における公共交通利用を促進し、円滑な交通確保を誘導する」ことが目指されています。
- ・ これらを踏まえ、総合交通戦略の理念について、案を提示いたします。上位計画・関連計画から“誰もが”“ゆとり”“持続可能”“活気”“安心”というキーワードが挙げられます。これを基に、理念の案として「多世代・多文化がいつまでも元気よく共生するまちづくり」。ポイントとして「増加する高齢者をはじめとする全ての市民、そして交通の要衝として育まれた多様な文化を大事にしながら、賑わいのある草津市を実現する持続可能な交通まちづくりを進める」といったところを考えております。これを踏まえた基本方向の案として、「持続可能な交通体系の構築」「人と環境にやさしい交通サービスの整備」「まちづくりと連動した交通サービスの整備」ということを提案します。理念・方向性について協議し決定いただければと思います。
- ・ 続きまして提示した理念・方向性を基に課題や施策イメージを説明いたします。
- ・ 基本方向の案の第一として「高齢社会を見据えた持続可能な交通基盤づくり」に関する項目を挙げます。基本方向の前提として高齢化社会を見据えた持続可能な交通基盤づくりが重要と考えられます。その中で鉄道駅を中心とした集約型市街地の形成・集約型市街地と都市核を有機的に結ぶ公共交通の構築が必要と考えられます。

- ・ 施策イメージとして「新たな交通システムの導入」、「新駅の設置」、「バスサービスの改善」、「乗換の円滑化」で、「バスサービスの改善」についてはバス走行環境の改善・まめバスと路線バスが一体となったルートおよびサービスの見直し、「乗換の円滑化」については事業者の枠を取り払った乗継割引制度の導入・乗継容易な拠点の整備など乗継に伴う物理的制約の解消といった方向から整備を進めていくことが重要と考えています。
- ・ この施策イメージに関わる現状を以下に取りまとめています。1つ目が人口の推移です。人口の増加とともに、高齢者の割合も増加しており、高齢化に対応したまちづくりが求められます。2つ目に、バス交通が集中する地区と道路混雑が激しい地区が重なり、交通の集中がおきています。3つ目に、路線バスとコミュニティバスがお互いの役割を持ちながらそれぞれサービスを提供しています。次にバスサービスが提供されている一方で湖岸地域の一部では公共交通空白地が存在しています。
- ・ 次のページは参考として新たな交通システムの例として、バスだけでは十分でないという場合に考えられる交通サービスを提示しています。
- ・ 第二の基本方向案として、「人と環境にやさしい交通サービスの整備」があります。「市民の安全かつ快適な移動を支える交通サービスの整備」、「環境意識の高まりに対応する交通サービスの整備」が必要と考えます。「市民の安全かつ快適な移動を支える交通サービスの整備」については各移動ツールの特性に応じた空間・サービスの確保・駅周辺や幹線道路における交通混雑の解消、「環境意識の高まりに対応する交通サービスの整備」には過度な自動車依存からの脱却・集約型市街地と都市核を有機的に結ぶ公共交通の構築・環境負荷の少ない交通サービスの提供が必要と考えられます。
- ・ これを踏まえた施策として自転車利用環境の整備が考えられます。これについては自転車空間の確保・レンタサイクルの複数拠点化について考えていきたいと思えます。また、空間整備という意味では、新たな道路の整備を含めて考えていくことで歩行者や自転車、自動

車などの色々なツールが使える空間を目指していきたいと考えています。

- ・ 「人と環境にやさしい交通サービスの整備」に伴う現状について、まず自転車・歩行者の交通量については、自転車については立命館大学やパナソニックのある地域で非常に多くなっています。この地域では自転車歩行者空間の取り組み例として区画線やポストコーンの設置により空間の確保を行っています。次に自転車駐輪場と放置自転車の状況ですが、放置自転車の撤去台数につきましては減少傾向で、レンタサイクルについては市内2箇所設置されております。次に道路整備の現状です。都市計画道路の整備状況と道路混雑の関係を示しました。草津市南部で混雑が激しく、計画道路の未整備が重なることがわかります。
- ・ 第三の基本方向案の「まちづくりと連動した交通サービス」について説明します。基本方向として「賑わいある都市拠点を支える交通サービスの整備」「市民が安心して生活できるための交通基盤づくり」があると考えられます。「賑わいある都市拠点を支える交通サービスの整備」については中心市街地の賑わい創出と活性化を支援する交通体系の構築、市民が安心して生活できるための交通基盤づくりについては防災拠点ならびに避難路の確保が考えられます。
- ・ こういった観点からの施策イメージとして中心市街地における歩行空間の整備、広域避難地と避難路の整備が重要と考えられます。また前述の新たな交通システム・バスサービスの改善・新たな道路整備とあわせて実施していくことが重要だと考えられます。
- ・ 「まちづくりと連動した交通サービス」に伴う現状として、活気ある都市拠点といった観点からは中心市街地では5年前に比べて各事業者数・従業員数・売場面積等が減少傾向で、空き店舗も1割存在しています。次に防災の観点からですが、草津・山田地域で地震による全壊の恐れが高い木造建造物が集中していることが提示されております。
- ・ 以上の施策イメージをポンチ絵でまとめたのが21ページです。
<<ヒアリングシート記入のお願い>>

<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 続きまして、委員の皆様にお配りしているヒアリングシートについて説明いたします。皆様にアイデア・意見を伺い、市民アンケート、事業者アンケートと皆様のご意見を参考にして戦略の方向性や施策イメージの深い議論の材料としたいと考えております。 ・ そのために4つのテーマからヒアリングを実施させていただきます。1つ目が草津市の交通をどう考えている・評価しているか、2つ目は現状を踏まえて今後草津市の交通がどうあるべきと考えているか、3つ目は公共交通が既存のものと併せて、新駅や新交通システムについても含めてどうあるべきか、4つ目は今後のまちのあり方について社会変化を踏まえて皆様の意見を改めてまとめていただきたく思います。皆様ご多忙な中でございますが、ご意見を賜りたく思いますので、ご協力のほどお願いいたします。以上で説明をおわります。 ・ ただいま説明がありました議題の3につきまして、なにかご意見、ご質問はございますか。委員の皆様には、今聞いていただいた説明を参考にヒアリングシートを記入していただく旨の説明が事務局からありましたので、それも含めてご意見、ご質問をお願いします。 <p><<意見交換>></p>
<p>B 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ この資料3の20、21ページについて、草津・山田地域で地震による全壊の可能性が高いことがこの地域は古いというのか、公の施設が耐震に適していないとか、意味合いが分からなかったのと、これだけのエリアでまちの再生を意図したものなのか読み取り方はいろいろあるので、どのような意図なのか教えていただきたいです。
<p>中央復建</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危機意識を煽るものではなく、そういう地域もあるので避難しやすいような道路づくりを考えていく必要があるという意図です。
<p>B 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民家が古いということでしょうか。全壊の恐れが高いという根拠はどこから持ってきたものですか。
<p>中央復建</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料の下に小さく書いていますが、草津市が作成した平成17年度

	<p>の防災アセスメント調査です</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域を特定してこういう資料にするので、どういう風に全壊の評価が出たのかというのを調べて、どういう意図で引っ張ってきたのかということをおかさない住民の皆さんが心配されますので。他に意見ございましたらどうぞ。
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策イメージの新たな交通システムのところで、南草津から大学までの地域を検討されていますが、他の地域は検討されていないのですか。ここは割りと交通が充実しているところだと思います。なぜここにしたのかということも含めてお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決定ではなく、あくまでも施策イメージです。滋賀県の新交通システム協議会というのが昨年発足し、大津湖南地域エリアの中で南草津が一つの例に上がっていますので、今回のイメージの中に含めました。市としてここを重点的にやるという意図ではありません。他のルート等、委員さんの意見があれば対応したいと考えています。
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ この地域在住ですが、一見充実しているようにみえますが、毎日家の前が出られないほど渋滞しています。広い道を走るバスとは別に生活している者がスムーズに行き来できるような仕組みは住民が望んでいます。
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第五次総合計画や都市計画マスタープランがベースになり戦略を立てていくと理解します。その際に「賑わい」というのは人の交流・物の交流・情報の交流という意味合いがありますが、物の交流、つまり物流は施策イメージでの「賑わい」に入っていますか。実際の戦略が町の中のものと他の地域の連携・交流の視点を含めたものという二面性を捉えたほうが整理しやすいと思います。観光での人や物の動きも含めた交通ネットワークの整備のハード面やソフト面もあるかと思います。全体的なおさえ方と、どのようなイメージで最終的にまとめていくのかが見えていれば議論がしやすいと感じます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ D 委員のおっしゃったことがまとめていけたらというのが本音ですが、上位計画については第5次総合計画を基にやっていくべ

	<p>きと考えています。物流についても草津市は交通の要衝でもあります。高速が草津ジャンクションと繋がっている地の利を活かすのも念頭に入れながらやるべきと考えています。草津市では今年から中心市街地活性化基本計画の策定を目指しています。中心市街地の活性化＝草津市の活性化という観点から、中心市街地へいかにアクセスを持っていくかということも考え、中心市街地の交通網だけでなく 周辺からのアクセスの利便性を高めることも非常に大事かと思えます。イメージ図については新交通を南草津だけかというご質問がありましたが、現在交通渋滞のある地域も念頭に置きながら作ったのも事実であります。トータル的に考えていくことが必要と考えています。</p>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 草津総合計画が大きなベースとなりますと、例えばロードマップは細かくみえる形で打ち出されています。今の交通戦略のイメージはこれらの計画と兼ね合いながら、トータル的にまとめるといったことでよろしいでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今言っていたいただいたとおりの考えで進めていこうかと考えています。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ A 委員は所用のため途中退席されますが、それまでに何かご意見等ございますか。
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的イメージとして人口増にもかかわらず事業者が減少傾向にあり、中心市街地の商店が空洞化していき郊外の大型ショッピングセンターに人が流れていく、人の流れがどんどん拡散化している状況にあるかと思えます。今のイメージだと拠点をどう結ぶかだけですが、どのように人を流すのかというイメージを決めたら全体像が見えてくるのではないかと感じます。
E 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認も含めて話したいのですが、資料 6 ページ目の理念についてここがベースとなり今後議論が進んでいくのだろうと思います。まちづくりのキーワードを 5 つ挙げていますが、これを選ばれた理由を補足していただきたいです。 ・ 基本方向についてですが、7 ページ以降基本方向に沿った施策イメ

	<p>ージが挙げられていますが、もう少し整理した方がいいと思います。具体的に言いますと、1点目が「持続可能な交通体系」、何が持続可能なのかぼやけていて分かりにくいと感じます。収支面・環境面・まちづくりの面・新交通の面のどれなのか。2点目が「まちづくりと連動した交通サービス」についてですが、中心市街地の活性化について歩行空間だけではなく、アクセスとか色々な施策のイメージが考えられますので、膨らませていけたらいいと思います。</p>
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ たたき台にもなっていない段階ですが、どういう考え方で作ったのかお聞かせ願えますか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ キーワードについては、草津市都市計画マスタープランや第五次総合計画などからピックアップしたものを総括して5つを抽出いたしました。整理についてはたたき台にして次回提示します。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私からも指摘がございます。6ページの持続可能な交通体系の構築について、この言葉だけ聞いたら誰も反対しませんが、8ページを見るとどこが持続可能な交通体系なのか読み取りにくいので、ここは練っていただきたい。
<p>F 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3点ございまして、まず1点目ですが、8ページのキーワードの新駅の設置について21ページのイメージにも落とし込めないですか。 ・ 2点目に、バス環境改善の項目がありますが、具体的にバス専用レーンは考えておられますか。 ・ 3点目は、13ページの新交通システムは地下鉄からBRTまで紹介されてますが、LRTとBRTを比較して容量がBRTがLRTより大きいとありますが本当ですか。また、それを行う場合、バス専用レーンの確保が必要になってくると思いますが、それを含めた人数なのかどうか。逆にLRTの方が輸送量が多い気がします。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1点目についてですが、昨年度、南草津瀬田間に新駅をとという話がJRからございまして、草津市としてまちづくりを考えた上で、新駅が有効か否かということ判断して設置の是非を審理していま

	<p>す。総合交通戦略策定の中で、新駅についても議論をすると協議会1回目にも話をさせていただきました。今回のイメージ図で抜けていたのはJR等との調整の作業に遅れがあり、庁内協議を進め、出来次第紹介させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バス専用レーンについては現在の草津市の道路状況を見ても、とても設置できる状態ではありません。特に渋滞のひどいところでは厳しいと感じます。都市基盤としての道路の整備が必要になってきますので、今ある中で工夫すべきと思います。 ・ LRT、BRTについても同様に、実施すべき場所の見極めが大事になってくると思います。現状の中で新交通を実施するとした場合、可能かどうかということも検討しながら協議会に諮っていきたいと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ LRT、BRTの輸送力について資料の出典はどこからですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 注釈で補足していますが、現在実施しているところを基に整理しました。車両編成や運行間隔によっては数字が変わりますが、あくまで実績の事例として紹介いたしました。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例であるにしても、BRTの方がLRTより輸送力が大きいものですか。これなら輸送力から見てもBRTの方が有利になるとは思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ BRTは海外の事例を持ってきました。車両2台編成が必ずしもBRTとは言えないので、小さい車両で専用レーンを整備しているケースもございますので再度調査し、次回修正いたします。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけ事例を見ながら条件を整理したうえで出してください。G委員から新駅について補足がございましたらお願いします。
G委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新駅については今、市と検討している状況です。南草津駅が成功しており、他市と比べても駅を作ることによるまちづくりに知見をお持ちなので、もし市のほうであったほうが良からうということであれば、協議を進めていこうと思います。

<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他にいかがでしょうか。整備局さんの方で何かご意見ありますか。
<p>H 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の方の取り組みでは8月に低炭素まちづくり法が成立しました。背景として少子高齢化社会、環境問題があり、国では鉄道や新交通システムやバスなどの公共交通を整備し、その周りに集約型のまちづくりを推進していくことを進めています。今回の総合交通戦略の案を見ても、近いことが書いています。例えば8ページの持続可能性ですが、背景を見ても少子高齢化を見据えたまちづくりのことを考えているのかと思いました。高齢化に対して車に過度に依存することからの脱却、公共交通の整備を国でも進めています。ここに書いてある新たな交通システムやバスサービスの改善をすすめていくのはいい方向かなと思います。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。特になければ私の方から指名して意見を言っていたきたいのですがよろしいですか。
<p>G 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ G 委員のご発言にありましたが、越してきた30年前は周りには田んぼと梨畑しかなかったイメージなのですが、南草津駅と大学ができてから開発が進み、人の賑わいも増えて成功された例だと思えます。まちづくりは移動手段も要になると思えます。交通空白地のところや過疎化の地域に交通の便を整備して利便性を上げて若者を呼び込むとか盛り込んだらいいかなと思います。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要望を承って整理していただければと思います。公募委員から何かご意見ご質問があればお願いします。
<p>I 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私はペーパードライバーで専ら自転車で移動しています。まめバスを見かけた時に利用者が少ないと感じました。運賃が200円ということですが、私の実家がある地域では運賃が100円で、母も車を手放してバスで移動しています。やはり運賃を下げた方がいいのではないかと思います。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ まめバスについては実は午前中に議論をしていたのです。料金設定について事務局から説明の方をお願いします。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ まめバスは当初無料で運行し、その後有料へ移行して利用者数が激減した状況でございます。それを100円にしたら利用がもっと増えるのかという疑問点がございます。民間バス会社の運賃を参考にしながら料金を決めていますので、今のところ料金は変更を考えていません。ただ、来年度から本格運行になりますので、その中でバスの路線の変更については検討していきたいと考えています。アンケート調査で1,000通回答がある中で、整備すべき交通環境について半分の方は将来的にバスが必要と考えています。市としても将来的に考えていく上で主となるものと思っています。料金は当面据え置きですが、バスの重要性については十分に認識しています。
J 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転免許を持っていないので自転車で移動していますが、行動範囲が限られています。まめバス老上線の沿線ですが、ほとんどがマイカーを持っているのでまめバスの利用は少ないと思います。新興住宅地で高齢化が進む中、公共交通を充実させたほうがいいと思います。
K 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色々なご意見ありますが、草津市はめまぐるしく発展しています。特に南草津は人と乗り物の混雑が激しいところですので、これから交通戦略を進めていくには乗り物と人が区別できるような道を作っていく必要があると思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路の話が出たので国道事務所の方からご意見ありましたらお願いします。
N 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ぜひ草津らしさを出していただきたいと思います。他の自治体でいろいろ取りまとめをされていますが、7～8割は同じものでもいいと思います。あとの1～2割で地域特性を活かした市独自のものを出されるのが大事だと思います。例えば滋賀県ですので琵琶湖の交通をどうして行くか前面に出していったら分かりやすいのではと思います。 ・ 先ほど南草津駅はうまく整備されてきたとありましたが、私もその通りだと思います。反面で、ずっと発展してきたところには必ず課題はありますので、課題を抽出してカバーしていくのも重要だと感じます。市内でも地域ごとに課題は違うと思いますが、そこをはっ

<p>会長</p>	<p>きりしないとある地域は良くなってある地域は発展しない。そうなる とまちづくりとして成功したとはいえないので、地域ごとに課題 を抽出して課題に対してどう取り組んでいくかという施策イメージ を作っていくべきと思います。これから課題を聞き、意見を言って いきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。それでは皆さんからご意見を言っていただ きたいと思います。
<p>M 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、草津市内の事故による死者は10月末の段階で1名で、昨年 と比べて6人の減です。11月に入り国道で大学生が亡くなり、現 在死者は2名です。人傷事故は638件で前年より52件減少しま した。草津警察署管内での死者は大学生を含め4名で、うち2名は 高齢者です。両人とも近所に買い物に行く途中で横断歩道を渡らず に横断して車両と衝突して亡くなりました。 ・ 高齢者の事故が抑制できれば事故の抑制もできるのではというこ とで、県警本部で高齢者対策室とともに高齢者を対象にした交通安全 教育をしていますが、顕著な成果はなかなか出ていないのが現状で す。 ・ 今後の交通体系ですが、立命館大学の学生を対象にした自転車と歩 行者の分離対策、亀岡の事件を受けて通学路対策としてグリーンベ ルト・イエローベルトを順次行っています。高齢者からの意見で大 きい交差点は渡りきれないということです。栗東市の方からは国道 1号線で分断されていることを聞きますし、草津市では近江大橋の 取付道路、県道大江霊仙寺線、図書館前、国道1号線、バイパス、 文化ゾーン前のラインで高齢者が分断されていますので、交通環境 ならびに買い物難民に向けた交通体系を作らなければならないと思 います。今後警察としては、取り締まりも含めて道路整備、道路管 理者とともに交通体系を構築して安全な交通環境に努めたいと思 います。
<p>0 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県では2030年を目処に滋賀交通ビジョンを作成しています。2 030年の滋賀の交通体系をどうしていくのかを昨年度から今年度

	<p>にかけて検討しているところであります。草津市がとりまとめている内容についても順次入れていければと思います。今回議論にあがっていた新交通システムの件ですが、昨年度、滋賀県新交通システム検討協議会を立ち上げ、大津湖南地域について検討いたしました。ベースは平成16年に近畿地方交通審議会で、滋賀県南部について人口増加により今後LRT等の導入の可能性があるという答申が上がっています。それを受け、昨年検討いたしました。瀬田川を中心に西岸と東岸に分け、西は既存のバス交通の活性化を図っていき、東は開発地が多く既存の公共交通では足りない部分が出てきますので、特に開発の余地のある山手側に新たな交通システムが必要でないかという提言をまとめています。それについては今年度改めて大津湖南地域新交通システム検討協議会を立ち上げ、3年かけて新しいシステムが必要なのか不要なのか、どのようなものにするのかという検討を進めていきたいと考えています。今回県としても草津市総合交通戦略協議会の進行と並行して検討を進めていきたいと思えます。</p>
P 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ もう1点、県では湖上交通も検討していますが、今回の協議会で草津市内での交通として資料にあがっていましたが、外に向けた交通というのとも考えていく必要あるのではと思います。 ・ 交通戦略の中でバス交通が重要なシステムということで挙げていますが、コミュニティバスも必要ですが、当然バス事業者が営業路線として維持できるのならそれに越したことはないと思います。今まで施設ができてから事業者が勝手に路線を考え出されるということがあり、今回は新駅のことまで挙げられていますので、例えば新駅ができたなら既存の路線網を変えざるを得ないので、それを前もってバス路線を考えて議論していただければありがたいと思います。
Q 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりと連動した交通ということで、やはり高齢化社会を迎えるにあたり、特に地域の高齢者は外出しにくい状況になるかと思えます。事故防止の観点からの交通環境整備も進めていただけたらと思います。
R 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の交通体系にバスが重視されているのはありがたいと思うとともに、バス事業者としての責務も大きいなと感じます。市は費用的

	<p>なものを触れられていないのでどれくらいのコストが必要なのかと思います。財政的に厳しい中で、既存のインフラ改良をして実現に向けてのも一つの方策かと思います。新交通に向けて色々なメニューがありますが、その前段階として走りやすい環境づくりというのがあります。例えば利用促進としてICカードの導入やバス専用レーンの整備は、新規事業に比べコストは小さい。新交通システムではないですが、バスサービスの改善をしてバス事業者が導入しやすいような環境づくりをしていただけるとありがたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車について出ていましたので、バスに自転車を載せて走るものも運行しています。これは坂道の団地と駅を繋ぐ路線ですが、下りは自転車で駅まで行き、上りはバスに自転車を載せるものです。自転車は天候により利用しにくいものですので、自転車を車両に積載ということも一つの方法かと思います。 ・ 市外との連絡という面では、現実的ではないかも知れませんが、空の便としてヘリポートを整備して観光客を呼ぶというアイデアもあっていいかなと思います。まちづくりとの連携という面で、市西部に点在する集落の方の駅までの足を確保していくこともあるか思います。例えばまめバスと4条の垣を取り払い、シャトルバスを運行するのも一つかと思います。いずれにしてもバス交通の10年後見据えて走りやすい環境を整備して、バス事業者ではできないことを援助や補助をもらいながら進めていただけたらと思います。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の議論の中心は戦略の理念でした。次回精緻な案を持ってきてもらい議論いただきたいと思います。何か作業する上で意見や念を押しおきたいことがございましたらどうぞ。
<p>F 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先ほど N 委員のおっしゃった「草津らしさ」というものについてですが、県や市として行っている大学誘致が発展につながったのだらうと思います。あわせて新しい住民の方が来られている。そういう意味では、大学が勝手に頑張ってくれるのだらうというのではなく、草津市は他市と比べて大学と真剣に向き合って、連携している自治体です。一緒に頑張ってもらって交通体系づくりを考えていかないといけないのではと思います。その一環としての自転車対策は大学だけでなく街全体のためになるということも書いていった方がいいの

<p>会長</p>	<p>では。活用していく視点を入れていただければと思いますし、県としても頑張ってくださいと大事だと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 色々な意見が出たと思います。その意見を参考にしながら、理念や方向性をブラッシュアップしていただければと思います。内容が多岐にわたっていますので、今後議論を進めていかなければならないのですが、市民アンケートや事業者アンケートを参考にいただければと思います。 ・ 本日の議事は終了いたします。委員の皆様にはお忙しいところ申し訳ございませんがヒアリングシートの記入をお願いします。ヒアリングシートは次回の協議会に持参していただければよろしいのでしょうか。事務局お願いします
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。委員の皆様にはお忙しいところ申し訳ないのですが、次回の協議会には市民アンケートや事業所アンケートの回答とともに、委員の皆様の意見も反映し資料を作成したいと考えておりますので、1月の10日までに、今からお渡しします返信用の封筒に入れて送付をお願いします。大変ご面倒なことをお願いしますがよろしくご願いいたします。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員の皆様よろしいでしょうか？それでは本日の議事については終了させていただきます。委員の皆様、ありがとうございました。事務局へお返しします。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長におかれましては、議事進行の大役、誠にありがとうございました。また、委員各位におかれましては、活発な議論をいただき、誠にありがとうございました。 ・ 次回の草津市総合交通戦略協議会につきましては、1月下旬か2月初旬に予定しておりますが、踏み込んだ資料にて議論をしていただきたく考えており、庁内の検討会議や関係機関との協議を経て、資料の提案をしてまいりますので、多少遅れるかもしれませんが、よろしく申し上げます。日程が決定しだい、委員の皆様には通知させていただきます。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 本日は会長をはじめ、委員の皆様におかれましては、長時間にわたり、慎重なご審議を賜りありがとうございました。今後ともよろしく申し上げます。・ これをもちまして、閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。・ お車でお越しの方で駅前の地下駐車場をご利用された方は駐車回数券をお渡ししますので、事務局までお願いします。 |
|--|--|

おわり